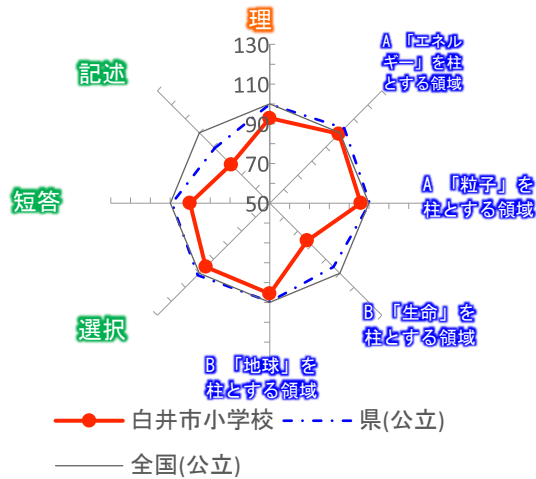


<小学校理科>



理科
全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、『「エネルギー」を柱とする領域』においては、全国平均とほぼ同等の正答率を示している。

エネルギー

◇電流がつくる磁力について、電磁力の強さはコイルの巻数によって変わることを理解できている。
◆身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの理解に課題がある。

粒子

◆水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを表現することに課題がある。

生命

◆レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することに課題がある。
◆ヘチマの花のつくりや受粉についての理解に課題がある。

地球

◇赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる。



授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

- 学習した知識を身の回りで見られる事物・現象と関係付けたり、様々な内容で習得した知識を整理したりして、物質の性質に関する理解ができる場面を設ける。
- 科学的に問題を解決するために、計画した実験が予想を確かめられるのかについて検討したり、改善したりする学習活動を行う。
- 科学的な言葉について正しく理解するために、考えたことを科学的な言葉を使って説明する場面を設ける。